

庁議報告事項

開催日：平成27年8月31日(月)

1 市長から

- 土日に、第15回目となる「原宿表参道元氣祭 スーパーよさこい2015」の関連行事への参加と視察を行ってきた。高知県からは13チームが参加しており、盛況で良かった。
- 日曜日に、帯屋町CENTRO（チェントロ）が全面オープンした。8月8日の第1陣でオープンした書店や、食堂等は盛況で、今後は、医療関係施設やデイサービス等が順次オープンする。4階から上の賃貸物件も全て埋まっていると聞いており、近隣にも、全国チェーンのカフェがオープン予定など、新たな人の流れが生み出されようとしている。新図書館の開館が遅れたことは想定外であったが、旧ダイエー高知店の撤退から10年が経過し、ようやく中心市街地活性化の形が出来てきた。
- 明日から、蕪湖市で行われる、姉妹都市提携30周年記念行事に参加をしてくる。訪問中の9月3日は、「抗日戦争勝利記念日」にあたるため、中国の動向を注視していたが、現在のところ大きな混乱もなく、参加できそうである。
- 地方創生の中でも、大学との連携により、卒業生の地元企業への就職率を上げていくことが重要であり、取り組みを進めていくが、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会が、本年3月27日に取りまとめた「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の在り方について」では、専門的な技術を持つ人材を育成する新しい種類の大学として、専門職業大学（仮称）が提言され、今後、専門学校等が移行していくことも考えられる。本市の総合戦略にも、専門学校との連携を盛り込んでおり、資料を参考に、取り組みを進めること。（詳細は資料に沿って説明）

2 吉岡副市長から

- 日曜の県内一斉避難訓練に参加した職員はご苦労様でした。春野町甲殿地区で参加をしたが、津波避難タワーへの避難訓練では、高齢者が30分以内に避難することを目的に実施をし、15分で避難が完了したが、一部、移動手段としてバスを使っただけの避難であり、今後、要支援者に対する避難対策を考える必要がある。まずは、揺れから命を守る対策が必要であり、避難対策と併せて、取り組む必要がある。
- 8月28日に、地域リーダー養成講座の開講式に参加してきた。4年目を迎えるが、これまで103名が受講し、今年度は、53名の参加があった。参加者には、現職の市議や、こどもファンドの審査員、市のOBなど、幅広い参加があり、今後、6回の講義が行われる予定となっているが、活躍に期待したい。
- 来週月曜に、議案発送となるので、対応をよろしく願います。
- 8月26日に、「市民に向けた巨大津波の最先端科学と正しい防災知識」と題する日本学術会議の公開講座が、高知工科大学永国寺キャンパスで行われ、多くの参加者があった。翌27日には、五台山展望台で行われた現地見学会に参加し、津波浸水について、浦戸湾の護岸倒壊想定や、浸水被害想定等について、国土交通省四国地方整備局より、資料を基に説明を受けた。特に、県内の石油系燃料の約90%を供給するタナスカ地区の防御が重要となっている。地震津波対策について、非常に分かりやすい資料であり、情報提供するので、参考にすること。（詳細は資料に沿って説明）

3 各部局から

○ 報告事項

- ・平成27年度高知市民意識調査の結果概要について（総務部）

- ・平成27年9月定例会 会派説明で出た主な意見と回答について（財務部）
- ・平成27年9月議会質問聴取分担表について（財務部）
- ・平成28年度概算要求基準額の設定に当たっての経常固定経費等の確認及び特殊事情調査について（財務部）
- ・臨時福祉給付金の申請受付開始について（健康福祉部）
- ・平成27年高知県知事選挙・高知市長選挙の期日前投票事務について（選挙管理委員会）